

令和7年上半年分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年上半年分について、輸出額は「自動車の部分品」などが減少したものの、「自動車」などが増加したことから、対前年同期比4.4%の増加となった。また、輸入額は「アルミニウム及び同合金」などが増加したことから、同7.2%の増加となった。

その結果、差引額は4兆1,630億円（同1.9%の増加）となった。

名古屋港における差引額は、平成10年上半期以降 55期連続 全国港別（空港を含む）第1位。
名古屋港における輸出額、輸入額、差引額は、いずれも上半期において過去最高。

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同期比による。

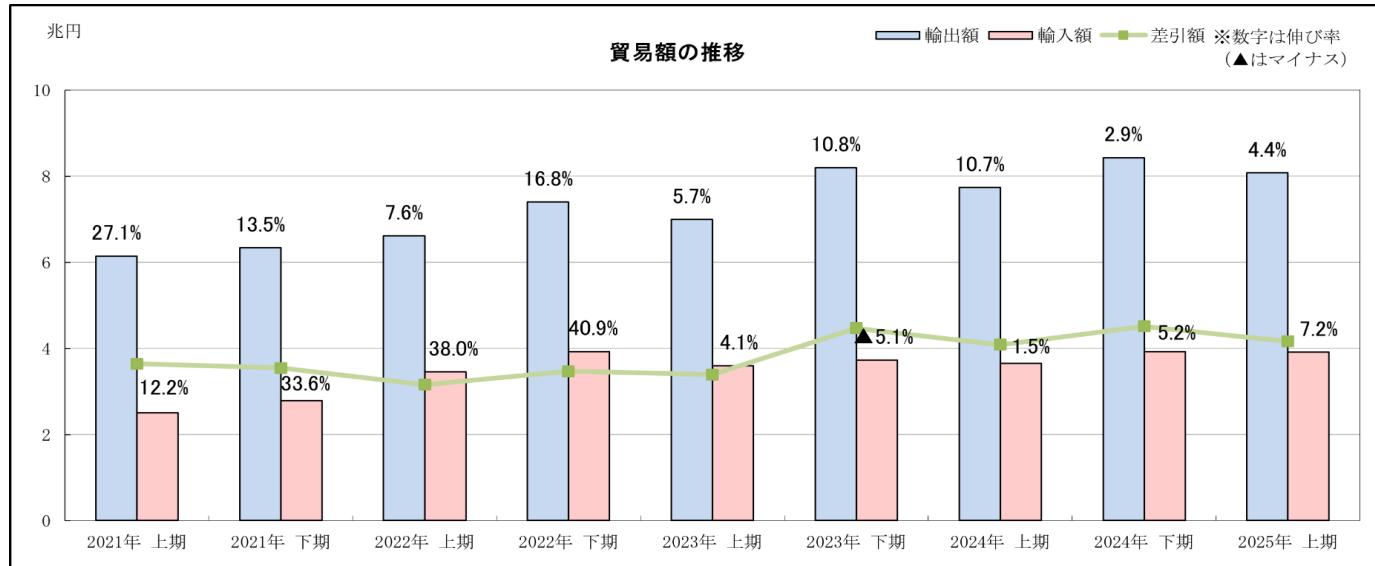
また、管内における全ての期を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年上半年以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額		伸率	輸入額		伸率	差引額		伸率	
名古屋港	8兆0,723億円		+4.4%	3兆9,094億円		+7.2%	4兆1,630億円		+1.9%	
	9期連続の増加			3期連続の増加			5期連続の増加			
	順位	過去3位	上半期として1位	順位	過去3位	上半期として1位	順位	過去3位	上半期として1位	
管 内（名港シェア）	12兆4,233億円 (65.0%)		7兆1,467億円 (54.7%)		5兆2,766億円 (—)		▲2兆2,158億円 (—)			
全 国（名港シェア）	53兆3,622億円 (15.1%)		55兆5,780億円 (7.0%)		▲2兆2,158億円 (—)					

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出 増加	(1) 自動車	2兆5,377億円	+11.9%	+3.5	9期連続の増加
輸出 減少	(1) 自動車の部分品	9,432億円	▲9.1%	▲1.2	2期連続の減少
輸入 増加	(1) アルミニウム及び同合金	2,044億円	+21.8%	+1.0	3期連続の増加



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）西部出張所をいいます。